

守れ！イチモンジタナゴ！！ プロジェクトニュースレター

6月号

2021.6

今回のメインテーマは『平安神宮でお話を聞こう』です！

動物園からほど近い平安神宮に行き、宮司の本多さんに明治時代の日本庭園として名高い『神苑』を案内してもらいました。昔は池にたくさんのイチモンジタナゴが住んでいたのですが、タナゴが卵をうみつける貝が生息できない環境になるにつれ、生息数が激減しているとのことでした。実は、動物園で飼育しているイチモンジタナゴも元々は平安神宮からいただいた個体から増えたものです。同じ琵琶湖疏水を引き込んでいる平安神宮と動物園、力を合わせて頑張っていければいいですね！



生き物が大好きな本多宮司のお話はとても楽しく、みんな興味深く聞き入ります。貝が住みやすい環境を復元するために、ヘドロをすべて除去したとのことでした！



動物園のタライ水槽のほうは…

今回も、タナゴたちの様子を観察したり、エサをあげたり、水質検査をしたり、普段飼育員がしている飼育管理を体験してもらいました。水質検査は2回目ともあって、みんなだいぶ慣れた手つきで行っていました！最後に今回のタライ水槽で孵化した稚魚を見て、あまりの小ささに驚きを隠せない様子でした。



橋の上からコイや大きなスッポンも観察できてみんな大満足♪



魚が住みやすい水質になってるかなあ!?



産まれたばかりの稚魚ってこんなにちっちゃいんだなあ♪
かわいい♡